



こんにちは佐高です

佐呂間高校HPでカラー版をご覧ください！

URL:<http://www.saroma.hokkaido-c.ed.jp>



改めて

佐呂間高校を紹介します。

共に生き

共に成長して
未来へ

北海道佐呂間高等学校

校訓
郷湖大地に学び
自らの道を拓け

〈校訓の由来〉

美しい恵みのサロマ湖を擁するわが郷土の豊かな自然の営みと、そこに根ざして生きてこられた先人の知恵を指針として、夢の実現を目指し、一日一日を地道に努力する人となる。

苦しさ、辛さを克服し、たくましく挑戦する人生にこそ未来がある。将来に向けて力強く飛躍することに願いをこめて。(平成10年3月1日制定)

本校の特色

小規模だからこそできる！佐高のイイ所

個別進学講習(英語)の様子

○「夢」を追いかける君を全力サポート

基礎基本から大学進学まで、様々な進路希望に応じた学習指導を行っています。2年次よりコース制(文理・教養・実務)を設け、一人一人がそれぞれの目標に向かって、学びを深めていきます。卒業生はこれまでに国公立大学や難関私立大学への合格を果たしているほか、各種検定にも積極的にチャレンジしています。



○佐呂間町からの「強力な支援」と「地域とのつながり」

〈佐呂間町からの支援〉

- 通学バス、部活動バス、各行事(見学旅行など)の送迎バス
- 全道・全国大会遠征費全額補助、地区大会交通費補助
- 資格(英検・漢字検定など)試験、模擬試験受験料3分の2の助成
- 姉妹校(アラスカ州パーマ高校)派遣事業による短期留学費補助

また、地域のイベントでは高校生が協力することで活気が生まれています。地域とのつながりにより、社会で「生きる力」がさらに育まれていきます。

米国アラスカ州での短期留学の様子



○一人一人に寄り添う、きめ細かな進路指導

職業が多様化している現代社会では、自分の好きな仕事や興味のある仕事を見つけることは簡単ではありません。本校では「上級学校出前授業」や「インターンシップ(2日間)」を通して職業観を身につけます。また先生方は生徒一人一人の進路希望を常に把握し、進学受験・公務員試験対策、面接・小論文対策などそれぞれの進路実現を強力にバックアップします。

インターンシップ(消防署)の様子



〈昨年の主な進路先〉(詳細は本校ホームページをご覧ください)

国公立大学にも、10年連続合格

【国公立大学】帯広畜産大学、名寄市立大学

大学5名、短大4名、専門学校9名、公務員3名、就職5名

【私立大学】北星学園大学、札幌保健医療大学、札幌大谷大学

【専門学校等】北見医師会看護専門学校など

【短期大学】北海道武蔵女子短期大学など

【就職】JA北海道厚生連遠軽病院など

【公務員】佐呂間町役場、北海道行政職員(警察行政)、自衛官候補生

本校の学びの特色

① 「アクティブ・ラーニング」～少人数だからこそ生きる～

今求められているのは、黙って先生の話の聞く勉強法ではなく「主体的・対話的で深い学び」と言われています。佐呂間高校では少人数である点を活かし、どの授業でもディスカッション（討論）やプレゼンテーション（発表）を盛んに行うことで、知識の定着・活用を促しています。

② 「個別指導」～徹底したサポート～

「国公立大学や公務員試験に合格したい」「勉強に不安があるからもう一度学び直したい」「保育士や小学校教諭を目指すのでピアノを練習したい」といったやる気のある生徒には先生方が徹底サポートします。佐呂間高校では毎朝の始業前や放課後に多くの生徒が勉強に励んでいます。

③ 「授業以外も全てが学び」～人格形成の視点～

学校祭・体育大会といった行事や部活動は、「周囲と協力し、工夫して物事を成し遂げる」というとても大切な「学び」です。「知・徳・体」のバランスのとれた資質・能力を育成します。



朝講習（公務員）の様子

卒業生より 佐高応援メッセージ



受験のための勉強は決して楽なものではありませんが、先生方からの個別指導などを受けやすい環境なので、進学校よりも劣っているとは思いません。自分の努力次第でできることは広がっていくので、佐呂間高校に入って大学に進学しようとしている人はぜひその環境を生かしてほしいと思います。H28卒 東京農工大学 鶴田 将大



部活動では、吹奏楽局に所属していました。局員は10人前後と少人数ではありましたが、吹奏楽コンクールでは毎年金賞、私が高校2年生の時には全道大会に出場することが出来ました。その年には、高文連でも全道大会に出場することができ、貴重な体験をさせていただきました。H30卒 佐呂間町社会福祉協議会 本田 琴音



高校に入ると大きく変わるのは周りではなく、自分です。そして、様々なものに興味を持ち、挑戦したい事も増えてきます。一緒に過ごしてきた仲間、育ってきた町で多くのことに挑戦し、未来をより大きく広げませんか！佐呂間高校で自分の将来への可能性を広げ、充実した時間を過ごしましょう！H30卒 佐呂間町役場 中嶋 雄樹



私は現在、充実した大学生活を送っています。私は佐呂間高校での3年間に大変満足しています。少人数だから寂しいと思う人もいるでしょう。しかし、充実した毎日にそのような事を感じたことはありませんでした。迷っている人はぜひ佐呂間高校に進学してほしいと思います。H31卒 名寄市立大学 小松 瑞季



入った高校が大事なのではなく、入ったあとに自分で何をするのが大事だと思うので、自分が何をしたいのかしっかり考え、自分なりの答えを出して欲しいです。私は佐呂間高校に進学したことを全く後悔していません。むしろ、感謝しかありません。H31卒 北海道教育大学 鴨志田 佳樹

部活動 【主な大会成績】

吹奏楽局・放送局・バドミントン部・テニス部・バスケットボール部・サッカー部



- ・管楽合奏コンテスト全国大会出場《H30》
- ・日本ジュニア管打楽器コンクールアンサンブル部門《H31》
- ・北見地区放送コンテスト新人大会ラジオドキュメント部門1位《H30》
- ・高文連北見地区放送発表大会朗読部門4位《R1》
- ・北見地区放送コンテスト新人大会朗読部門4位、アナウンス部門1位、4位《R1》
- ・高体連北見支部バドミントン男子ダブルス3位、男子シングルス準優勝《H30》
- ・高体連北見支部バドミントン男子シングルス準優勝《H29》
- ・国体道予選北見地区バスケットボール選抜チームに選手選出《H30》
- ・サッカー選手権大会網走地区第3位《H29》

主な学校行事

～佐呂間高校で君だけのドラマを～



サロマ湖100Kmウルトラマラソン支援活動の様子



夏季体育大会の様子



佐高祭（合唱）の様子